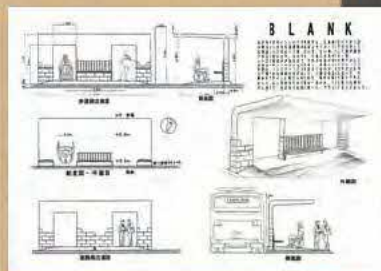
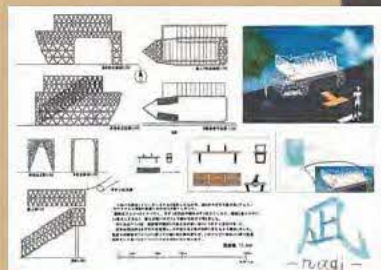


令和3年度 高校生建築 デザインコンクール

Architectural Design Contest 2021

課題／「身近なバス停留所の上屋」



ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2021

はじめに

道では、将来の技術者を目指す若年層の育成などを図るため、道内で建築を志す建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しており、今回で26回目となりました。

今年度は、高校が所在する自治体に実際に存在するバス停留所を題材に「身近なバス停留所の上屋」を設計課題として募集したところ、5校128人から111作品の応募がありました。

応募いただきました作品は、細部まで考えられたアイデア溢れるプランや、バス停以外の機能を持たせた意欲的なプランなど、高校生ならではの創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

厳正な審査の結果、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

また、参加いただいた全ての皆様にとって、今回一生懸命取り組んだ経験が貴重な財産となることと思います。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただいた先生方をはじめ、共催いただいている(公社)日本建築家協会北海道支部、(一社)北海道建築士事務所協会、(一社)北海道建築士会の皆様には多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、応募いただいた高校生の皆様には、引き続き建築の勉強に励まれ、将来は建築技術者として第一線でご活躍されることを心よりご期待申し上げます。

令和4年2月

北海道建設部建築企画監 長 浜 光 弘

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2021

審査総評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物などのデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークな アイディア を広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。

今年度は、「身近なバス停留所の上屋」を設計課題として募集したところ、111作品と多くの応募があり、多くの関係者の多大なご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛況に開催することができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、立地条件や周辺状況の特性を活かしながら、個性的なコンセプトに基づくユニークなデザインや、バリアフリーへの配慮とデザインを上手に両立させたものなど、高校生らしい発想力や表現力豊かな作品が 数多く見られました。

審査にあたっては、主に「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「ユニバーサルデザインや環境などに配慮されたデザインであるか」といった観点から行い、委員間で活発な議論が交わされましたが、厳正な審査の結果、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定しました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。



令和3年度高校生建築デザインコンクール選定委員会

委員長 北海道建設部 建築局 建築整備課長

石丸 貴康



令和3年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞（1作品）

早坂 亮哉（北海道苫小牧工業高等学校（全日制）3年）

西村 理沙（北海道苫小牧工業高等学校（全日制）3年）

優秀作品賞（3作品）

工藤 千朋（北海道小樽未来創造高等学校）2年）

蓑島 拓真（北海道苫小牧工業高等学校（全日制）3年）

柳生 尚也（北海道苫小牧工業高等学校（全日制）3年）

高橋 鉄三（北海道苫小牧工業高等学校（定時制）3年）

佳 作（4作品）

大湯 海斗（北海道小樽未来創造高等学校 2年）

成田 菜々（北海道小樽未来創造高等学校 2年）

小倉 愛加（北海道函館工業高等学校 3年）

佐々木 淳（北海道留萌高等学校 3年）

特 別 賞（2作品）

安藤 匠汰（北海道小樽未来創造高等学校 3年）

保坂 璃人（北海道小樽未来創造高等学校 3年）

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2021

令和3年度高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

- 課 題** 「身近なバス停留所の上屋」
高校が所在する自治体に存するバス停留所(現状の上屋の有無は問わない)に整備する上屋を提案してください。
- 応募資格** 道内高等学校(建築系学科)に在籍する個人又は2名のグループ
- 提出図面** JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
(1)作品タイトル
(2)設計主旨
(3)配置図・平面図 1/50~1/20
(4)断面図 1/50~1/20
(5)立面図 1/50~1/20(1面)
(6)スケッチ又は模型写真又は透視図
(7)面積表
- 応募作品** 128名から111作品の応募
- 入選作品** 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作4作品 ・ 特別賞2作品
- 経 過**
募集要項配布 令和3年 7月 7日
作品受付 令和3年 11月30日まで
選定委員会 令和3年 12月15日
作品展 令和4年 1月 9日から 1月10日まで
- 選定委員** 石丸 貴康(北海道建設部建築局建築整備課長) ※委員長
赤坂 真一郎(公益社団法人日本建築家協会北海道支部 副支部長)
重綱 博美(一般社団法人北海道建築士事務所協会 業務・技術委員会担当副会長)
松本 純(一般社団法人北海道建築士会まちづくり委員会副委員長)
柴田 亨(北海道教育庁学校教育局高校教育課長)



入賞作品

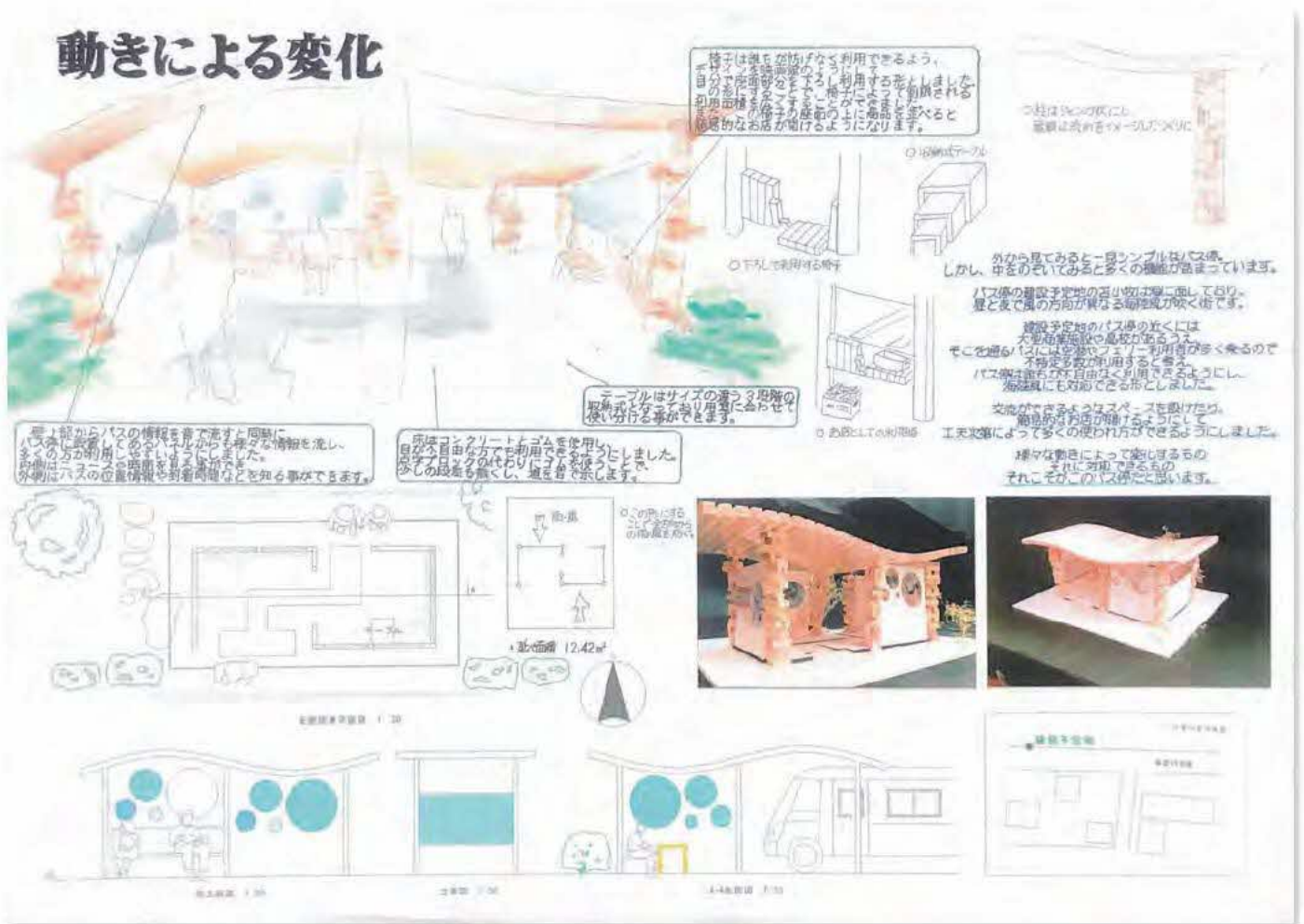


最優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校(全日制)

早坂 亮哉 (3年)

西村 理沙 (3年)



作品名 「動きによる変化」



設計主旨 外から見ると一見シンプルなバス停。しかし、中をのぞいてみると多くの機能が詰まっています。バス停の建設予定地の苫小牧は海に面しており、昼と夜で風の方向が異なる海陸風が吹く街です。建設予定地のバス停の近くには大型商業施設や高校があるうえ、そこを通るバスには空港やフェリー利用者が多く乗るので不特定多数が利用すると考え、バス停は誰もが不自由なく利用できるようにし、海陸風にも対応できる形としました。交流ができるようなスペースを設けたり、簡易的なお店が開けるようにして工夫次第によって多くの使われ方ができるようにしました。様々な動きによって変化するもの、それに対応できるもの、それこそがこのバス停だと思います。



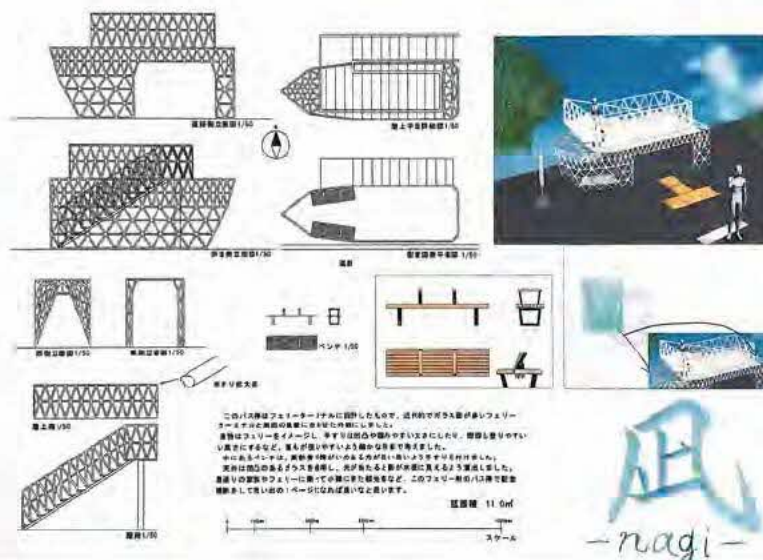
審査講評 バス停という機能を満たしながら、様々な部位を可変とすることで用途が広がるなど、アイデアがたくさん詰まったデザイン。造形のみならず、風向、使い勝手など、細部にわたり考察されたプランが評価された。

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2021



優秀作品賞

北海道小樽未来創造高等学校
工藤 千朋 (2年)



作品名 「凧 -nagi-」



設計主旨

このバス停はフェリーターミナルに設計したもので、近代的なガラス面が多いフェリーターミナルと周囲の風景に合わせた外観にしました。

建物はフェリーをイメージし、手すりは凹凸や掴みやすい太さにしたり、階段も登りやすい高さにするなど、誰もが使いやすいような細かな所まで考えました。

中にあるベンチは、高齢者や障がいのある方が使い易いよう手すりを付けました。

天井は凹凸のあるガラスを使用し、光が当たると影が水面に見えるよう演出しました。見送りの家族やフェリーに乗って小樽に来た観光客など、このフェリー形のバス停で記念撮影をして思い出の1ページになれば良いと思います。



審査講評

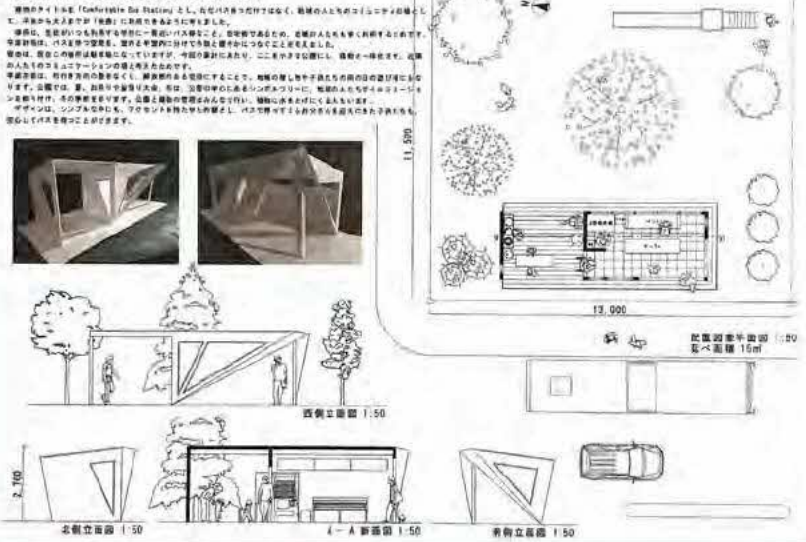
フェリー乗り場の立地条件をコンセプトに活かし、繊細な造形や手摺りの細部も良く考えられ、バス停以外の「眺める」機能を持たせた意欲的なプランが評価された。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校(全日制)
菫島 拓真 (3年)
柳生 尚也 (3年)

Comfortable Bus Station



作品名 「Comfortable Bus Station」



設計主旨

建物のタイトルを「Comfortable Bus Station」とし、ただバス待つだけではなく、地域の人たちのコミュニティの場として、子どもから大人までが「快適」に利用できるように考えました。場所は、生徒がいつも利用する学校が一番近いバス停なこと、住宅街であるため、地域の人たちも多く利用するためです。平面計画は、バスを待つ空間を、室内と半室内に分けて外部と緩やかにつなぐことを考えました。理由は、現在この場所は駐車場になっていますが、今回の設計にあたり、ここを小さな公園にし、建物と一体化させ、近隣の人たちのコミュニケーションの場と考えたためです。平面左側は、桁行き方向の壁をなくし、解放感のある空間にすることで、地域の催し物や子どもたちの雨の日の遊び場にもなります。公園では、夏、お祭りや盆踊り大会、冬は、公園の中心にあるシンボルツリーに、地域の人たちでイルミネーションを飾り付け、冬の季節を彩ります。公園と建物の管理はみんなでい、植物に水をあげにくる人もいます。デザインは、シンプルな中にも、アクセントを持たせた外観とし、バスで帰ってくるお父さんを迎えにきた子供たちも、安心してバスを待つことができます。



審査講評

動きのある三角フレームを使ったシャープなデザインや、半屋外と屋外の2つのパターンを設定したバス停の新しい存在の仕方の提案が評価された。



海 高等 時

「身近なバス停設計の上巻」

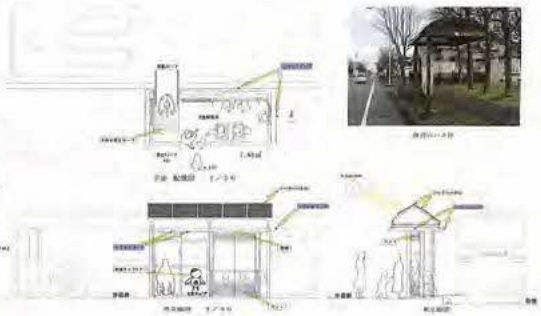
待あい所

乗客と運転手がシグナルを交わせる待合所

設計趣旨
高齢化が進み、若い世代に比べて視力が低下している高齢者が安心して乗車を待つことができる待合所を、都市部にも導入してバリアフリーを実現し、乗客と運転手がシグナルを交わせる待合所を設計する。

特色
乗客がワンステップで乗車できる。視覚・聴覚・触覚で乗客と運転手がシグナルを交わせる。ワンステップで乗車できる。視覚・聴覚・触覚で乗客と運転手がシグナルを交わせる。

設計内容
乗客と運転手がシグナルを交わせる待合所。ワンステップで乗車できる。視覚・聴覚・触覚で乗客と運転手がシグナルを交わせる。ワンステップで乗車できる。視覚・聴覚・触覚で乗客と運転手がシグナルを交わせる。



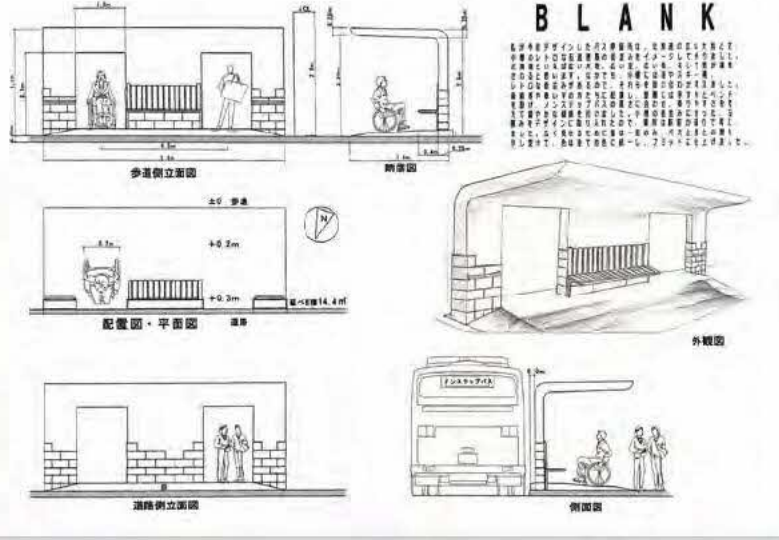
待

旨 のと い る来 とつひきのひを、
て頂 目 安 り め

評 国 と ンや も配 な、
設



海高)



作 「 AN

旨 私 地、広 ス 北 い大 の てる 道
せ りや 考 また 高 齢 そ て れ 港 ス 設 テ なが で
し し 考 や な け た す 街 に 積 を ザ の 通
め の た ソ ン リ ヘ ど ン

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2021



佳作

北海道小樽未来創造高等学校
成田 菜々 (2年)



作品名 「 Siniy 」



設計主旨

私が建設地に選定したバス停は塩谷海岸です。選定理由は、友達や家族と海に行くときは必ず利用しており、バスで塩谷の海に来た人はみなこの場所を利用するため利用者が多い場所です。現在はバス停に日除けや椅子がなく、バスを待っている間も不便な停留所を作りたいと思ったからです。私がデザインしたバス停留所で特にこだわった所は、停留所の中から見ただ天井部分です。ワイヤーを取り付けることで、傘につるしてアンブレラスカイをおこなったり、花を吊すなどインスタレーション作品を表現する空間として利用できるようにしました。いろいろな人たちが、バスを待っている間も飽きないでいられる空間にしたいと思い計画しました。



審査講評

芸術的なアンブレラスカイや花のインスタレーションを取り込んだデザインセンスやそれをしっかり伝える図面表現が評価された。



佳作

北海道函館工業高等学校
小倉 愛加 (3年)



作品名 「 Libro illustrato dei ricordi 」



設計主旨

図書館前のバス停留所を設計しました。図書館をイメージして本の形を柱に利用し、色は背景の図書館の壁に合わせて、赤を主に茶色・黄土色の煉瓦にしました。そして、その本には表表紙と裏表紙を年代によって違う懐かしい絵本のタイトルやイラストを描いてあります。幼い自分や両親を思い出す場所、バスの待ち時間で話題の尽きない時間を思い出す場所を設計しました。屋根は、切妻屋根に本の形をした瓦を並べ、シンプルでお洒落感を表現でき、不思議な雰囲気になるようにしました。全体的にお洒落シンプルなデザインが特徴なため目立ちすぎず、図書館に似たような雰囲気にしました。停留所の椅子では、本を重ねた椅子にすることで外観だけでなく、内観にもこだわりました。



審査講評

図書館側のバス停で本をモチーフに図書館へ行くのが楽しみになるデザインや高校生らしい若々しい図面表現が評価された。

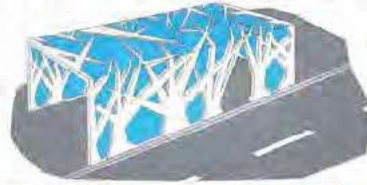
ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2021



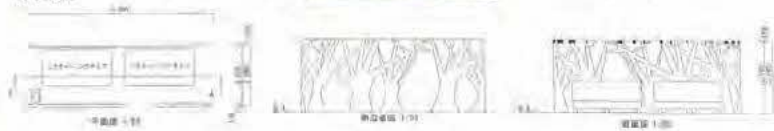
佳作

北海道留萌高等学校
佐々木 淳 (3年)

KOMOREBI



木漏れ日の中でバスを待つ停留所。
テーマが木漏れ日なことから、太陽が上がっている時間によく使われるバス停にしようと考え、東橋前のバス停を選んだ。
全体をモチーフに、RCの壁で森の木々を再現。そこから入る光をつくり、森の中のような空間を作り出すことで、少しの待ち時間にリラックスできるようなバス停にした。また、雨風を凌ぐために壁の間にはガラスを取り付け、側面には一ヶ所穴をあけ乗降口を設けた。
森の中で座るイスは、どのようなものがいかがを考えた結果、リクライニングチェアのような形にし、木漏れ日を感じながら楽な姿勢で待てるようにした。



作品名 「KOMOREBI」



設計主旨

木漏れ日の中でバスを待つ停留所。
テーマが木漏れ日なことから、太陽が上がっている時間によく使われるバス停にしようと考え、東橋前のバス停を選んだ。
木をモチーフに、RCの壁で森の木々を再現。そこから入る光をつくり、森の中のような空間を作り出すことで、少しの待ち時間にリラックスできるようなバス停にした。また、雨風を凌ぐために壁の間にはガラスを取り付け、側面には一ヶ所穴をあけ乗降口を設けた。
森の中で座るイスは、どのようなものがいかがを考えた結果、リクライニングチェアのような形にし、木漏れ日を感じながら楽な姿勢で待てるようにした。



審査講評

森の中というリラックス空間をモチーフにコンセプト(写真)のイメージをシンプルながら忠実に表現し、実物を見てみたいと思わせるデザインが評価された。

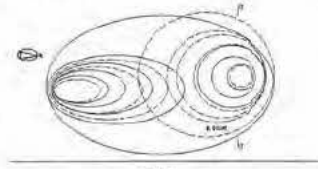
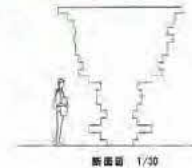


特別賞

北海道小樽未来創造高等学校
安藤 匠汰 (3年)



Arbres et montagnes



平面図 1/30

作品名 「Arbres et montagnes」



設計主旨

わたしは、天狗山のバス停を選定しました。理由は、観光客やスキー客の利用が多く幅広い年齢層で老若男女問わず、たくさんの方の目につくことや、幼いころから学校行事で天狗山登山やスキー学習で利用しており、とても思い出があるので選びました。山ということで、その雰囲気や壊すことなく、印象に残るバス停を作りたいと思い、木を基調として木の板を積層させ山や木をイメージして設計しました。段差にすることにより様々な高さがあり、その人にあった高さで座ることができ、観光客やスキー客などの団体が天狗山にびったりです。



審査講評

シンプルな円形を重ね合わせた優れた造形美とバス停に必要な仕様をみごとに調和させたプランが評価された。

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2021

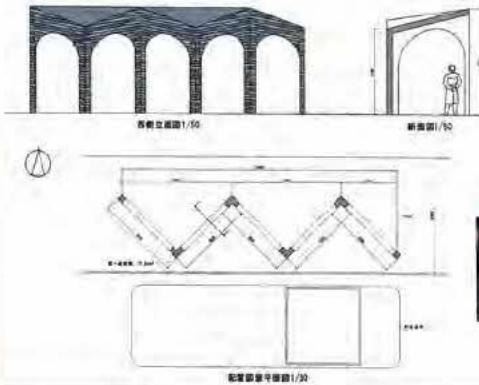


特別賞

北海道小樽未来創造高等学校
保坂 璃人 (3年)

continuity ARCH

今回のテーマは身近なバス停留所の上屋ということで観光街にある小樽芸術村にバス停を設計しました。小樽は石造の歴史的建造物が多く立ち並んでいますが、中でも小樽芸術村には歴史を表す建物や当時の日本建築界をリードしていた建築事務所によって設計された建物があり、小樽の文化や芸術を発信していく地域となっています。この芸術村のアーティスティックな雰囲気と小樽の静かな空気感を生かした新しいバス停留所を目指しました。同じ形のパネルを山形に並べることでアート性の高いバス停留所をつくる事を目指しました。また、石造りにすることで静かな空気感を作りつつ芸術村に馴染むよう計画しました。



作品名 「continuity ARCH」



設計主旨

今回のテーマは身近なバス停留所の上屋ということで観光街にある小樽芸術村にバス停を設計しました。小樽は石造の歴史的建造物が多く立ち並んでいますが、中でも小樽芸術村には歴史を表す建物や当時の日本建築界をリードしていた建築事務所によって設計された建物があり、小樽の文化や芸術を発信していく地域となっています。この芸術村のアーティスティックな雰囲気と小樽の静かな空気感を生かした新しいバス停留所を目指しました。同じ形のパネルを山形に並べることでアート性の高いバス停留所をつくる事を目指しました。また、石造りにすることで静かな空気感を作りつつ芸術村に馴染むよう計画しました。



審査講評

立地条件や小樽の歴史的建造物の特性をシンプルな造形と存在感のあるデザインで表現しており、拡張性も考えられたプランが評価された。

令和3年度高校生デザインコンクール応募者名簿

北海道小樽未来創造高等学校

- 阿部 彩華 [3年]
- 井浦 隼汰 [3年]
- 岡本 和土 [3年]
- 越智妃里乃 [3年]
- 佐藤 蓮太 [3年]
- 滝澤 空 [3年]
- 千葉啓太郎 [3年]
- 日和 勝 [3年]
- 松木 くるみ [3年]
- 村上 穂風 [3年]
- 山本 雄大 [3年]
- 伊藤 正太 [2年]
- 大湯 海斗 [2年]
- 工藤 凜梨 [2年]
- 中川 裕也 [2年]
- 長谷川真央 [2年]
- 湊 柚綺 [2年]
- 和田 夢亜 [2年]
- 安藤 匠汰 [3年]
- 大宮 蒼太 [3年]
- 奥山 雪乃 [3年]
- 麻績 綺音 [3年]
- 庄木 ゆい [3年]
- 竹生 亮太 [3年]
- 原 恭生 [3年]
- 福井 未来 [3年]
- 保坂 璃人 [3年]
- 森山 悟士 [3年]
- 吉田 樹 [3年]
- 内村 滯 [2年]
- 工藤 千朋 [2年]
- 須藤 蓮 [2年]
- 成田 菜々 [2年]
- 本間 雄斗 [2年]
- 輪島 慧杜 [2年]

- 西垣 拓哉 [3年]
- 工藤 滉将 [3年]
- 早坂 亮哉 [3年]
- 西村 理沙 [3年]
- 石川新之助 [3年]
- 石川 歩 [3年]
- 棟方 亮羽 [3年]
- 中山 温陽 [3年]
- 福嶋 匠 [3年]
- 水野 泰聖 [3年]
- 裏島 拓真 [3年]
- 柳生 尚也 [3年]
- 立川 拓夢 [3年]
- 千葉 颯哉 [3年]
- 蛭名 純也 [3年]
- 大宮 颯太 [3年]
- 高橋 麗 [3年]
- 高橋 優菜 [3年]
- 加藤 達也 [3年]
- 石井 陽希 [3年]
- 川口 さくら [3年]
- 芹野 駿 [3年]
- 藤原 涉 [3年]
- 早田 健将 [3年]
- 高崎 光 [3年]
- 万城目倫翔 [3年]
- 木戸 章裕 [3年]
- 木下 颯人 [3年]
- 鈴木 健太 [3年]
- 菅原 大翔 [3年]

- 山谷 遥奈 [3年]
- 川口 輝羅 [2年]
- 菊地 愛 [2年]
- 木村 絢 [2年]
- 佐々木亜里沙 [2年]
- 中川実乃里 [2年]
- 平井 唯翔 [2年]
- 前田雄樹冬 [2年]
- 向平 果鈴 [2年]
- (その他1名) [2年]
- 渡邊 佑 [3年]
- 川村 友稀 [2年]
- 北嶋 未桜 [2年]
- 小林 莉子 [2年]
- 谷口 蒼樹 [2年]
- 野呂 風花 [2年]
- 藤島七海斗 [2年]
- 宮川 加鈴 [2年]
- 安田 未咲 [2年]

(定時制)

- 高橋 鉄三 [3年]

北海道留萌高等学校

- 小野 耀大 [3年]
- 齋藤 光 [3年]
- 佐々木創士郎 [3年]
- 佐藤 唯斗 [3年]
- 谷口 秀吾 [3年]
- 宗像 龍輝 [3年]
- 村山 太陽 [3年]
- 横尾 颯人 [3年]
- 工藤 瑛 [3年]
- 佐々木 淳 [3年]
- 佐藤 快 [3年]
- 澤田 翼 [3年]
- 三浦 收翔 [3年]
- 村上 陸斗 [3年]
- 守屋 音楽 [3年]

北海道苫小牧工業高等学校

(全日制)

- 更科 碧音 [3年]
- 前田 幸汰 [3年]
- 三浦颯一郎 [3年]
- 中村 圭太 [3年]
- 以下2名グループ
- 伊藤 一夢 [3年]
- 柴田 大空 [3年]
- 奥山 瞬 [3年]
- 越智 琉矢 [3年]

北海道函館工業高等学校

- 相原 柚奈 [3年]
- 稲垣 寧央 [3年]
- 小川 真礼 [3年]
- 木村 心 [3年]
- 小林 佳音 [3年]
- 高橋 祐衣 [3年]
- 福田 優 [3年]
- 三浦 桜乃 [3年]
- 四十物谷慶翔 [3年]
- 白木 諒月 [3年]
- 小倉 愛加 [3年]
- 越崎陽奈美 [3年]
- 瀬川 桃彩 [3年]
- 長岡 幸希 [3年]
- 藤島 達也 [3年]
- 三品 響季 [3年]

北海道帯広工業高等学校

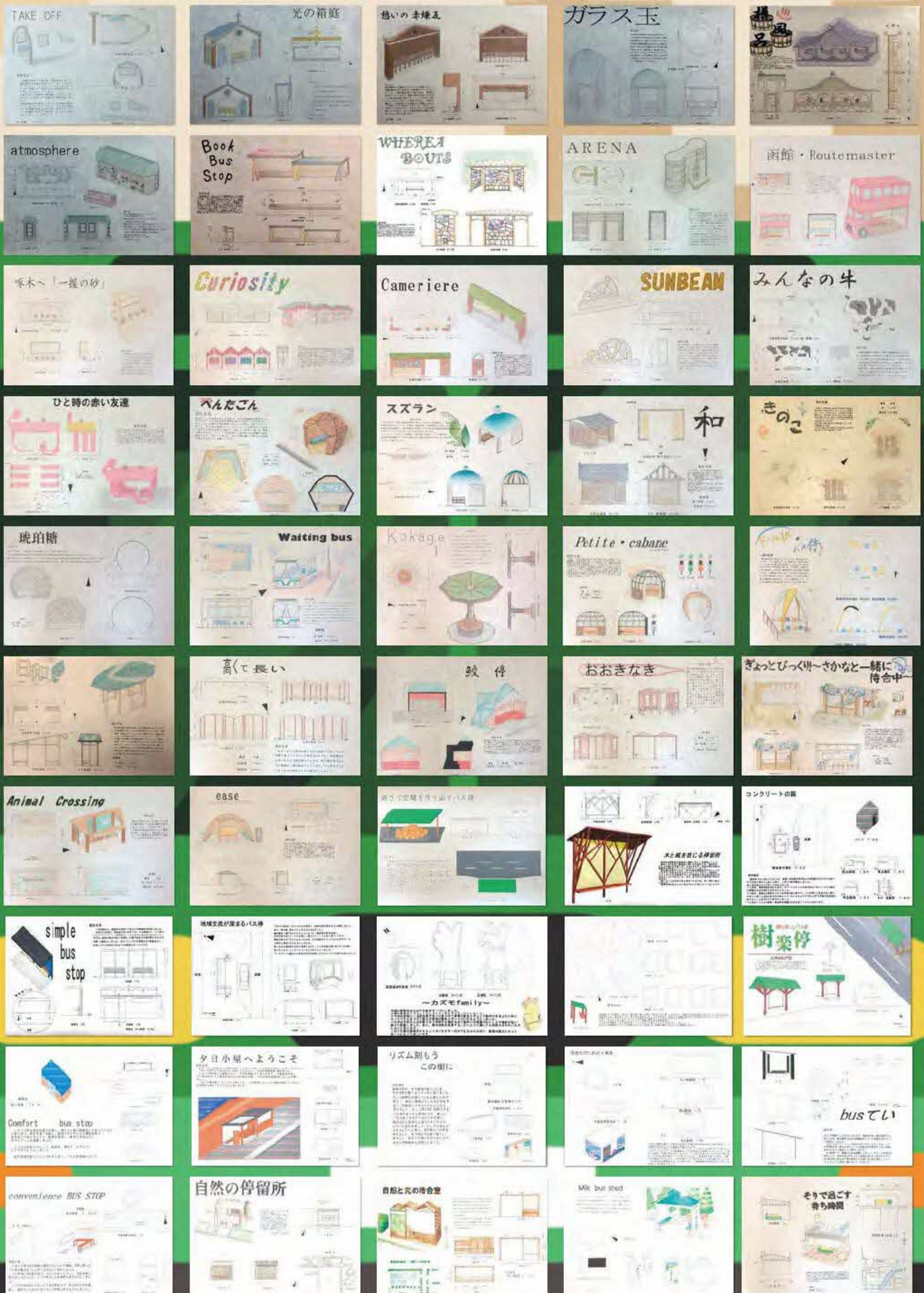
- 青江 麻菜 [3年]
- 西川 凜花 [3年]
- 今井 葉月 [3年]
- 山下 愛 [3年]



高校別応募作品一覧

学校名	応募作品数	参加人数
北海道小樽未来創造高等学校	35	35
北海道苫小牧工業高等学校 (全日制・定時制)	22	39
北海道函館工業高等学校	35	35
北海道留萌高等学校	15	15
北海道帯広工業高等学校	4	4
計	111	128

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2021



共催

北海道

公益社団法人日本建築家協会北海道支部
 一般社団法人北海道建築士事務所協会
 一般社団法人北海道建築士会

北海道建設部建築局ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

令和4年2月